

各都道府県（新潟県を除く）・指定都市（新潟市を除く）教育委員会学校安全主管課
各都道府県（新潟県を除く）私立学校主管課
関係各都道府県各種学校主管課
附属高等学校及び中等教育学校を置く各国公立大学法人事務局 御中
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部参事官
総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

「世界津波の日」2020 高校生サミット in 新潟」の開催について（事前通知）

昨年9月に「世界津波の日」（11月5日）の国内イベントの一つとして、北海道札幌市で高校生サミットが開催されましたが、本年は、9月15～16日に新潟県新潟市において、「世界津波の日」高校生サミットが開催されることとなりました。

現在、新潟県をはじめ関係機関等で具体的な事業内容の検討が進められているところです。

については、貴管内の高等学校及び中等教育学校、特別支援学校高等部、高等学校の課程に類する外国人学校※に対し、さらに各都道府県教育委員会においては、域内の市区町村立高等学校及び中等教育学校、特別支援学校高等部を設置している市区町村教育委員会に対し、本サミットの開催の周知をお願いします。

特に、防災教育に取り組むなど、本行事の趣旨に適した学校に対しては、開催概要（案）を確認していただき、参加を希望するか検討いただくよう、あわせて、周知をお願いします。

なお、参加希望校及び参加希望人数については、本年4月以降に改めて調査する予定です。

※高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則（平成22年文部科学省令第13号）第1条第1項第4号イ及びロの規定に基づき、文部科学大臣が指定する各種学校

【添付資料一覧】

（別紙）「世界津波の日」2020 高校生サミット in 新潟 開催概要（案）
（参考）「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道 報告書（抜粋）

【参考URL（過去の「世界津波の日」高校生サミット）】

「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道 公式ホームページ
<https://www.tsunami2019hokkaido.jp/>
「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山 公式ホームページ
<https://www.tsunami2018wakayama.telewaka.tv/>
「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄 公式ホームページ
<http://www.okinawa-congre.co.jp/tsunami-summit2017/>
「世界津波の日」高校生サミット in 黒潮 公式ホームページ
<http://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/summit-japanese>

【問合せ先】

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
参事官（施設防災担当）付
津波対策推進係（三好・室岡）
電話 03-5253-4111（内線3184）
E-mail: bousai@mext.go.jp



「世界津波の日」2019高校生サミットin北海道



中越地震復興祈願花火「フェニックス」(長岡市)



信濃川河口と朱鷺メッセ(新潟市)



世界遺産候補 史跡佐渡金山「道遊の割戸」(佐渡市)

「世界津波の日」2020 高校生サミット in 新潟

High School Students Summit on
“WORLD TSUNAMI AWARENESS DAY”
2020 in Niigata

会場 新潟コンベンションセンター
「朱鷺メッセ」
(新潟市中央区万代島6番1号)

開催日

9/15 Tue
16 Wed

「世界津波の日」2020高校生サミット in 新潟

“復興を力に、経験と教訓を世界へ”
～雪国で育まれた助け合いの精神から学ぶ災害対応～

開催趣旨

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。

翌2016年からは、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として、「世界津波の日」高校生サミットが開催されており、2016年の高知県では「黒潮宣言」、2017年の沖縄県では「若き津波防災大使ノート」、2018年の和歌山県では「稲むらの火継承宣言」、そして昨年2019年の北海道では「イランカラブテ宣言」が採択されています。

本年は、新潟県において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」をより一層深めることを目的に、「世界津波の日」2020高校生サミットin新潟を開催します。

開催日程

2020年9月15日（火）、16日（水）

開催場所

**新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」
（新潟市中央区万代島6番1号）**

※レセプションは、ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区万代5-11-20）を予定

プログラム

9月15日（火）

【午前】分科会（発表・討論）

【午後】開会式、記念撮影、分科会（討論・統括）

【夕方】レセプション

9月16日（水）

【午前】記念植樹・記念碑除幕

総会・閉会式（12時頃終了予定）

※プログラムは変更となる可能性があります。

参加者見込み

海外参加者	生徒・引率	約270名（45カ国（予定））
国内参加者	生徒・引率	約260名
	合計	約530名

参考

「世界津波の日」2019高校生サミットin北海道
報告書（抜粋）

High School Students Summit on

“WORLD **TSUNAMI** AWARENESS DAY”

2019 in HOKKAIDO

「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道

2019 9/ **10**・**11**
Tue Wed



報告書

**“Passing memories on to the future,
preparations for tomorrow”**

~ Irankarapte from the Northern Land

Learning about the threat of natural hazards and how to respond to them ~

Venue : Hokkaido Prefectural Sports Center **“HOKKAI Kitayell”**

1-1, Toyohira 5-jo 11-chome, Toyohira-ku, Sapporo

“記憶を未来へ、備えを明日へ”

～ 北の大地からイランカラプテ。自然災害の脅威と対応を学ぶ ～

会場 北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1



Irankarapte Declaration

Since 2016, the year after the United Nations (UN) General Assembly adopted the World Tsunami Awareness Day Resolution, a High School Students Summit has been held annually on World Tsunami Awareness Day. This year, students from 44 countries have gathered in Hokkaido, a place characterized by a richly blessed natural environment and distinct seasons. We have learned about earthquakes, tsunamis, volcanic eruptions, snowstorms, and other disasters resulting from nature's fury, and how to respond to them.

We could also strengthen the *kizuna*, or "bonds," between our different countries by touching each other's hearts through serious discussions about what we should and can do to save lives when natural disasters occur, and how we can work to build back better during recovery from disasters.

We have decided to pass on these outcomes to other students worldwide, irrespective of country or region, to raise awareness of the threat of natural hazards and to act to save lives when natural disasters occur.

○ We will continue to learn about past disasters and gain an understanding about the current status and causes of natural disasters, as well as preventive measures, and transmit this knowledge.

- We can prepare for future disasters by learning from past experiences, such as evacuation drills, which better educate and prepare younger generations .
- We can be better prepared than we are now by using updated knowledge, such as social media, workshops, games and education from professionals.

○ We will spread greater awareness of disasters and stay prepared and vigilant, ready to take action at any time to secure our safety, regardless of the type of disaster.

- We will create a world that can collaborate in the event of natural disasters.
- We will widen the network between people through technology to strive for mutually understanding. By these ways, we will raise sustainable awareness for disasters.

○ We will actively participate in, cooperate with, and contribute to safety activities in local communities and initiatives focused on building back better during recovery from disasters to ensure a safe and secure society together.

- We will make sure that students become actively involved in visiting disaster-affected places to learn about first-hand experiences from older generations that were affected.
- We will create local school programs to improve student-community relations.
- We will give information about natural disasters to all generations by using new and traditional media.

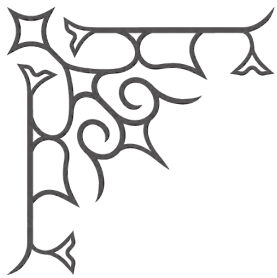
We hereby declare that we will protect our irreplaceable nature and prepare for natural disasters while appreciating the blessings of nature and deepening understanding of the threats sometimes caused by nature.



September 11, 2019

High School Students Summit on
"World Tsunami Awareness Day" 2019 in Hokkaido





イランカラプテ宣言

2015年に国連総会で「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年開催されてきた「世界津波の日」高校生サミット。本年、私たち44か国の高校生は、四季折々の表情をもつ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらす自然の脅威とその対応について学びました。

また、私たちは、自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかなど、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れあい、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果を国や地域を問わず世界各地の高校生に広め、自然災害への関心を一層高め、自然災害から命を守るために行動することを決意します。

○私たちは、過去の災害について知り、自然災害の現状や原因、防災などについて学び、それを広めていきます。

- ・私たちは、避難訓練を通じた教育や準備など、過去の経験から学び、将来の災害に備えます。
- ・私たちは、ソーシャルメディア、ワークショップ、ゲームや専門家からの助言など、最新の知識を活用し、災害に備えます。

○私たちは、災害への意識を高め、日頃から、災害の種類に応じ自ら安全を確保する行動ができるよう、備えます。

- ・私たちは、自然災害が起きた際に協力できる体制をつくります。
- ・私たちは、相互理解を深めるため、テクノロジーを駆使し、人々のネットワークを広めます。こうした取り組みにより、災害に対する意識を高めていきます。

○私たちは、安全で安心な社会の構築に貢献するため、地域社会の安全活動やより良い復興に向けた取り組みに進んで参加・協力します。

- ・私たちは、災害被害を先達から直に学ぶため、実際の被災地域を積極的に訪れるよう取り組みます。
- ・私たちは、学生と地域との絆を深めるため、地域と学校が協力しあえるプログラムをつくります。
- ・私たちは、新旧のメディアを用い、あらゆる世代に自然災害の情報を発信します。

私たちは、自然の恵みに感謝し、時に災害をもたらす自然の脅威について理解を深めながら、かけがえない自然を守り、自然災害に備えることを宣言します。

2019年9月11日

「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道



開催概要

■ 名 称

「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道

■ 開催趣旨

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、2015年12月の国連総会において、日本が提唱し、我が国をはじめ142か国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。

翌2016年から、世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として、「世界津波の日」高校生サミットが開催されており、2016年の高知県では「黒潮宣言」、2017年の沖縄県では「若き津波防災大使ノート」、そして、昨年（2018年）の和歌山県では「稲むらの火継承宣言」が採択されています。

日本最北の地、北海道に住む私たちは、四季折々で表情を変える豊かな恵みを受けながら暮らしていますが、時として地震や津波、火山噴火、暴風雪など自然の脅威にさらされてきました。昨年9月の北海道胆振東部地震では、大規模な斜面崩壊の発生や液状化による家屋の倒壊など甚大な被害が発生し、また、1993年7月の北海道南西沖地震では、地震発生後の津波や火災により社会・経済基盤にも壊滅的な被害を受け、それぞれ多くの尊い命が失われたところです。これらの災害からの復旧・復興に際しては、関係者により多大な努力が払われるとともに、各地から大きな支援が寄せられ、速やかに対策が講じられてきました。こうした過去の災害を踏まえ、今後、巨大地震の発生が想定される千島海溝沿いの北海道東部地域などでは、住民の安全・安心を確保するため、防災・減災に向けた様々な取り組みを進めています。

世界的に見ても、約23万人の犠牲者を出した2004年のインドネシア・スマトラ沖地震・津波のほか、2005年のパキスタン地震、2008年の中国四川大地震、ミャンマーのサイクロン・ナルギス、2010年のハイチ地震、そして2011年の東日本大震災など、いずれも数十万・数万人規模の犠牲者を出した大災害が発生し、世界の持続可能な開発を進める上で、災害被害の軽減は国際社会の重要な課題です。

私たちには、こうした世界共通の脅威である大規模自然災害に対し、災害の記憶を教訓として防災・減災対策に取り組むとともに、ひとたび災害が発生した際には、迅速な避難などにより命を守り、その後は速やかな復旧・復興、また、「より良い復興」に向けた行動をとることが求められており、そのためには世界各国の相互理解と連携が欠かせません。

本年は、ここ“北の大地”北海道において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」を一層深めることを目的に、「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道を開催します。

■ 主 催

北海道、北海道教育委員会

■ 共 催

国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所

■ 後 援

国土強靱化推進本部、内閣府政策統括官（防災担当）、外務省、文部科学省、国土交通省、気象庁、経済協力開発機構 (OECD)、東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA)

■ 会 場

北海道立総合体育センター「北海きたえーる」
(札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1)

■ 開催日

高校生サミット	2019年9月10日(火)～9月11日(水)	北海きたえーる
レセプション (主催：外務省)	2019年9月10日(火)	札幌パークホテル
記念植樹・記念碑除幕式	2019年9月11日(水)	知事公館内
事前学習ツアー (主催：世界津波の日高校生サミット実行委員会)	2019年8月6日(火)～8月8日(木)	奥尻町
スタディツアー (主催：公益財団法人日中友好会館・株式会社 JTB)	2019年9月7日(土)～9月9日(月)	1班：奥尻町・倶知安町・洞爺湖町・壮瞥町 2班：釧路市・浜中町・美瑛町

■ 参加者

区分		人数等	区分		人数等	合計
日本	高校生	180名	海外	高校生	214名	394名
	引率	69名		引率	43名	112名
	計	249名		計	257名	506名
	参加校数	68校		参加国数	43か国	44か国

※次の3校が台風の影響により、参加取りやめとなりました。

- ・福島県 磐城緑陰高等学校
- ・大阪府 関西学院千里国際高等部
- ・神奈川県 横浜サイエンスフロンティア高等学校

■ 議長・総司会

【議長】	北海道札幌国際情報高等学校	2学年	井戸 静星
	学校法人札幌日本大学学園札幌日本大学高等学校	1学年	桐越 航
【総司会】	北海道札幌南高等学校	2学年	プラート アルヴィン
	北海道登別明日中等教育学校	5回生	竹縄 日南

■ 全体テーマ

”記憶を未来へ、備えを明日へ”

～ 北の大地からイランカラテ。自然災害の脅威と対応を学ぶ ～

■ 分科会テーマ

① 知識を得る ～過去の教訓の伝承

災害に対して適切な意志決定や行動選択をするためには、過去の災害について知ることや、自然災害等の現状や原因、減災等について学習することが求められます。

② 意識を高める ～災害への備えと迅速な避難

災害の種類に応じて自ら安全を確保するための行動ができるようになるには、訓練などを通し、台風や地震など自然現象に伴う危険を理解・予測し、それに適した行動ができるようにするとともに、日常的な備えを行うことが求められます。

③ 復興に向け共に行動する ～社会貢献、被災当事者との支援者の視点

安全で安心な社会を共につくっていくためには、地域社会の安全活動やより良い復興に向けた取り組みに進んで参加・協力し、貢献することが求められます。

タイムテーブル

1日目

9月10日 (火)

9:00-12:00	分科会 グループ内発表 グループ討論
	昼食
13:00-13:45	分科会 グループ討論
	休憩
14:00-14:45	開会式 オープニングアトラクション (北海道札幌白石高等学校) オープニング映像 参加国紹介 主催者挨拶 (鈴木直道 北海道知事) 提唱者挨拶 (福井照 衆議院議員) 事前学習ツアー報告・スタディツアー報告
14:50-15:10	記念撮影
	休憩
15:20-17:00	分科会 グループ討論 グループ統括

2日目

9月11日 (水)

8:15-8:45	記念植樹・記念碑除幕式 於 知事公館	
	移動	
9:30-9:50	記念撮影	
	休憩	9:50~11:00 大会宣言文調整
10:30-11:00	軽食	
11:15-13:20	総会・閉会式 主催者挨拶 (佐藤嘉大 北海道教育委員会教育長) 共催者挨拶 (カーシー・マディUNDRR官房長) ビデオメッセージ (安倍晋三 内閣総理大臣) 分科会報告 大会宣言発表 パフォーマンス (北海道札幌南高等学校) エンディングアトラクション	

参加校一覧（国内）

※高校生議長を含みます。

番号	都道府県	学校名	生徒		引率	合計	
			男	女			
1	北海道	北海道浦河高等学校	3	0	3	1	4
2	北海道	北海道江差高等学校	3	0	3	1	4
3	北海道	北海道釧路明輝高等学校	3	1	2	1	4
4	北海道	北海道札幌国際情報高等学校	4	1	3	1	5
5	北海道	北海道札幌西高等学校	3	1	2	1	4
6	北海道	北海道札幌南高等学校	3	1	2	1	4
7	北海道	北海道滝川高等学校	3	1	2	1	4
8	北海道	北海道根室高等学校	3	0	3	1	4
9	北海道	北海道登別明日中等教育学校	3	2	1	1	4
10	北海道	北海道函館水産高等学校	3	2	1	1	4
11	北海道	市立札幌開成中等教育学校	3	2	1	1	4
12	北海道	北海道奥尻高等学校	3	1	2	1	4
13	北海道	北海道霧多布高等学校	3	1	2	1	4
14	北海道	北海道釧路北陽高等学校	3	0	3	1	4
15	北海道	学校法人札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校	3	2	1	1	4
16	北海道	学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校	4	1	3	1	5
17	北海道	函館ラ・サール学園 函館ラ・サール高等学校	3	3	0	1	4
18	北海道	北海道札幌視覚支援学校	1	1	0	1	2
19	岩手県	岩手県立釜石高等学校	4	3	1	1	5
20	宮城県	宮城県気仙沼高等学校	3	0	3	1	4
21	宮城県	宮城県佐沼高等学校	1	0	1	1	2
22	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	3	2	1	1	4
23	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	2	1	1	1	3
24	宮城県	宮城県多賀城高等学校	3	1	2	1	4
25	福島県	磐城緑蔭高等学校 ※台風のため参加を取りやめ					
26	栃木県	栃木県立佐野高等学校	2	2	0	1	3
27	群馬県	高崎市立高崎経済大学附属高等学校	4	2	2	1	5
28	埼玉県	埼玉県立不動岡高等学校	2	0	2	1	3
29	埼玉県	学校法人早稲田大学 早稲田大学本庄高等学院	3	2	1	1	4
30	千葉県	千葉市立稲毛高等学校	3	2	1	1	4
31	東京都	東京学芸大学附属国際中等教育学校	3	1	2	1	4
32	東京都	東京都立白鷗高等学校	2	2	0	1	3
33	東京都	東京都立南多摩中等教育学校	3	0	3	1	4
34	東京都	学校法人富士見丘学園 富士見丘中学高等学校	2	0	2	1	3
35	神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 ※台風のため参加を取りやめ					

番号	都道府県	学校名	生徒		引率	合計	
			男	女			
36	神奈川県	横須賀市立横須賀総合高等学校	3	3	0	1	4
37	神奈川県	学校法人聖マリア学園 聖光学院高等学校	3	3	0	1	4
38	福井県	福井県立鯖江高等学校	3	2	1	1	4
39	山梨県	北杜市立甲陵高等学校	2	0	2	1	3
40	静岡県	静岡県立池新田高等学校	2	0	2	1	3
41	静岡県	静岡県立駿河総合高等学校	3	1	2	1	4
42	静岡県	静岡県沼津西高等学校	1	1	0	1	2
43	静岡県	学校法人星美学園 静岡サレジオ高等学校	3	2	1	1	4
44	静岡県	学校法人静岡聖光学院 静岡聖光学院中学校・高等学校	3	3	0	1	4
45	愛知県	学校法人愛知真和学園 大成高等学校	2	0	2	1	3
46	三重県	三重県立桑名高等学校	3	3	0	1	4
47	三重県	三重県立四日市高等学校	1	1	0	1	2
48	京都府	学校法人立命館 立命館高等学校	3	0	3	1	4
49	大阪府	大阪教育大学附属高等学校平野校舎	2	2	0	1	3
50	大阪府	大阪府立高石高等学校	3	0	3	1	4
51	大阪府	学校法人関西学院 関西学院千里国際高等部 ※台風のため参加を取りやめ					
52	大阪府	学校法人創価学園 関西創価高等学校	3	1	2	1	4
53	兵庫県	兵庫県立尼崎小田高等学校	2	1	1	1	3
54	奈良県	奈良県立畝傍高等学校	2	1	1	1	3
55	和歌山県	和歌山県立串本古座高等学校	3	2	1	1	4
56	和歌山県	和歌山県立新宮高等学校	3	0	3	1	4
57	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校	3	0	3	1	4
58	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	2	0	2	1	3
59	岡山県	岡山県立井原高等学校	3	0	3	1	4
60	徳島県	徳島県立城南高等学校	2	0	2	1	3
61	徳島県	学校法人村崎学園 徳島文理高等学校	1	0	1	1	2
62	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	3	1	2	2	5
63	高知県	高知県立大方高等学校	3	2	1	1	4
64	高知県	高知県立高知南高等学校	2	0	2	1	3
65	高知県	高知県立宿毛高等学校	2	0	2	1	3
66	高知県	学校法人土佐塾学園 土佐塾高等学校	2	1	1	1	3
67	高知県	学校法人明德義塾 明德義塾高等学校	2	0	2	1	3
68	福岡県	福岡県立戸畑高等学校	1	0	1	1	2
69	福岡県	学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 明治学園中学校・高等学校	4	0	4	1	5
70	熊本県	熊本県立熊本高等学校	3	2	1	1	4
71	大分県	大分県立佐伯鶴城高等学校	3	1	2	1	4
			180	71	109	69	249

参加校一覧（海外）

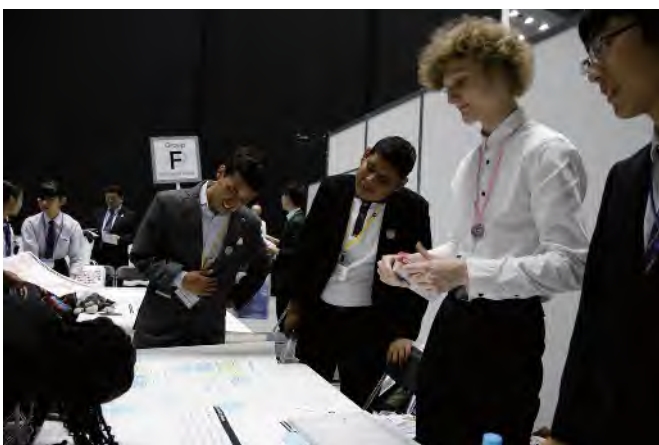
番号	参加国	学校名	生徒		引率	合計	
			男	女			
1	アルゼンチン	Valle de Cholila Agrotechnical Educational Center	5	2	3	1	6
2	オーストラリア	Rose Bay High School	5	3	2	1	6
3	ブラジル	Olavo Hansen State School	5	4	1	1	6
4	カナダ	Port Hardy Secondary School	5	0	5	1	6
		North Island Secondary School					
5	チリ	Colegio Bajo Molle	5	2	3	1	6
6	中国	The High School Attached to Dalian University of Technology	5	2	3	1	6
7	クック諸島	Tereora College	5	2	3	1	6
		Nukutere College					
		Papaaroa Adventist School					
		Titikaveka College					
8	エルサルバドル	Colegio Internacional de San Salvador	5	3	2	1	6
9	フィジー	ADI MAOPA SECONDARY SCHOOL	5	3	2	1	6
10	フランス	Lycée PAUL SABATIER CARCASSONNE	5	5	0	1	6
11	ドイツ	Gymnasium Wilhelm-Raabe-Schule Hannover	5	2	3	1	6
12	インド	Z.P.H.SCHOOL TALAGADADEEVI	4	4	0	1	5
13	インドネシア	SMA Negeri 13 Banda Aceh	5	3	2	1	6
14	イタリア	I.I.S. A. D'Aosta L'Aquila	5	3	2	1	6
		Convitto D. Cotugno L'Aquila					
15	キリバス	King George V & Ellaine Bernacchi School	5	1	4	1	6
16	マレーシア	SM SAINS HULU TERENGGANU	5	2	3	1	6
17	モルディブ	Centre for Higher Secondary Education	5	2	3	1	6
18	マーシャル諸島	Kwajalein Atoll High School	5	2	3	1	6
19	メキシコ	Cobao 03 Pinotepa Nacional	5	3	2	1	6
20	ミクロネシア	Chuuk High School	5	1	4	1	6
21	モンゴル	The Lab High School of young Inventors	5	3	2	1	6
		school No.1 in Ulaanbaatar					
		school No.11 in Ulaanbaatar					
		school No.31 in Ulaanbaatar					
		school No.45 in Ulaanbaatar					
22	ナウル	Nauru Secondary School	5	3	2	1	6
23	オランダ	Pontes Pieter Zeeman	5	3	2	1	6

番号	参加国	学校名	生徒		引率	合計	
			男	女			
24	ニュージーランド	ST MATTHEW'S COLLEGIATE SCHOOL	5	0	5	1	6
25	ニウエ	Niue High School	5	1	4	1	6
26	パラオ	BELAU MODEKNGEI SCHOOL	5	3	2	1	6
27	パプアニューギニア	Sogeri National High School	5	3	2	1	6
28	パラグアイ	Nihon Gakko	5	1	4	1	6
29	ペルー	IEPN° 20236 JOSE OLAYA BALANDRA	5	2	3	1	6
30	大韓民国	Incheon Haesong High School	5	0	5	1	6
31	ロシア連邦	School 51	5	2	3	1	6
32	サモア	LEIFIIFI COLLEGE	5	3	2	1	6
33	シンガポール	Temasek Junior College	5	1	4	1	6
34	ソロモン諸島	Visale Community High School	5	2	3	1	6
35	南アフリカ	Crawford College Pretoria	5	2	3	1	6
36	スリランカ	Agamathi Balika Maha Vidyalaya	5	2	3	1	6
		Girls' High School					
		Kalutara Balika National School					
		Wadduwa Central College					
		Royal College Panadura					
37	タイ	Satee Phuket School	5	1	4	1	6
38	トンガ	TONGA HIGH SCHOOL	5	2	3	1	6
		TONGA COLLEGE ATELE					
		QUEEN SALOTE COLLEGE					
39	トルコ	Çankırı Türkiye Odalar ve Borsalar Birliği Fen	5	3	2	1	6
40	ツバル	Fetuvalu Secondary School	5	2	3	1	6
41	米国（ハワイ）	HENRY J. KAISER HIGH SCHOOL	5	0	5	1	6
42	バヌアツ	Malapoa college	5	2	3	1	6
43	ベトナム	Ha Long high school	5	3	2	1	6
		Hon Gai High School					
			214	93	121	43	257

全体記念撮影 (9月11日総会・閉会式)



■ 記録写真



9月10日

開会式



9月10日

レセプション



9月11日

記念植樹・記念碑除幕式



9月11日

大会宣言調整



9月11日

総会・閉会式



